

# ごとう 五島 だいすけ 通信

神戸市会議員

2024年 予算号

http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net

ごあいさつ

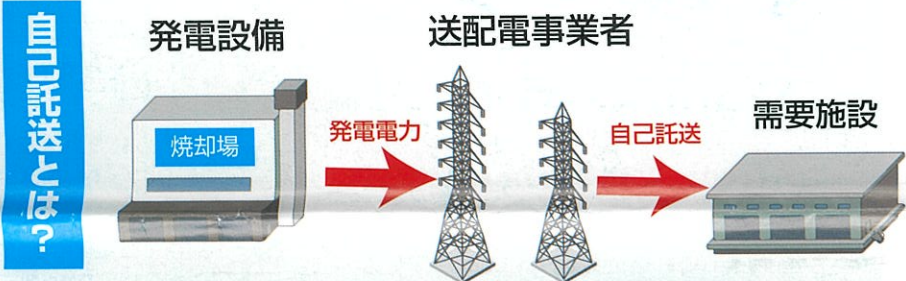


そろそろ桜の季節ですね、皆様いかがお過ごしでしょうか。本年もこの2月～3月に令和6年度予算案を決定する予算議会が開催されており、予算特別委員会などの審議に参加し、未来志向での議論を重ねているところです。

足元の税収は増加してはいるものの、人口減少やコロナ禍の影響などにより、市営地下鉄や市バス運行を行う交通局や、水道局などにおいて運営が危機的な状況に陥っております。燃油費高騰などにより人件費カットなどでは対応しきれない費用増加もあり、この度バス代や水道代を上げなければならない状況です。

今号では、これまでの活動の成果である令和6年度予算で実現した政策等を中心にご報告させていただきます、是非最後までお読み下さい。

## ゴミは資源!この観点を突き詰めれば、市の収入をもっと増やすことができる 増収分は当然市民サービスの増へとつながる、どんどん推進するべきだ



### ゴミ焼却場で生み出す電力の利用について ……売電も良いが、自己託送(自家消費)すればより財政効果を高められる!

**五島** 新年度に開始しようとしている西クリーンセンターの発電電力の自己託送だが、どれくらいの効果を見込んでおられるか? また、この効果が確認されたならば、さらにこの制度を利用し、全市展開するべきだいかがか?

**環境局長** 効果額としては約1億5千万円を見込んでいる。個別の課題がいろいろあるので、まずは西クリーンセンターでの運用を確認し、その発電能力の中で拡大をしていきたい。

**五島** まずは西でという事、これは着実にやっていただきたいが、これから**バス代上がり**、**水道代上がり**という中で、**売電事業などの収益を上げてそういった部分に回す**ことが出来れば、**我々市民も「環境行政に協力しよう!」**という気持ちが強まる。ぜひ今後の拡大検討をお願いする。

3処理場で現在155GWHの発電量、1kwhあたり@13.5円で売電しており、買う電力は@20円強  
→ 売却収入がなんと20億円だが、同じ量の電気を30億円で購入していることに。つまり、自己託送で効率化できれば市全体で10億円の経費削減に!

### ゴミ処理の広域連携について

だいたい日本にはゴミ焼却場が多すぎる、規模の小さい市町全てで焼却場を所有するような時代は終わっている。広域で連携処理し、設備にかかる建設費を節約して市民負担を減らす事で事業の継続性を高めるべきだ!

以前から、神戸市の3クリーンセンターの空き容量を利用し、芦屋市などの周辺自治体の燃やすごみを受け入れ、わが市としては処理料を獲得し、周辺自治体は新たにゴミ焼却場を建設する多大なコストを削減できるというお互いのメリットを享受すべきと要望、対話が始まったため、状況を確認しました。

**五島** ゴミ処理の広域連携については以前から強く要望しており、**芦屋市から公式に昨年9月に申し入れ**して頂き、経費負担の協議などをしていくところで、今後双方市民にとってのメリットを分かりやすく周知していく必要があるかどうか?

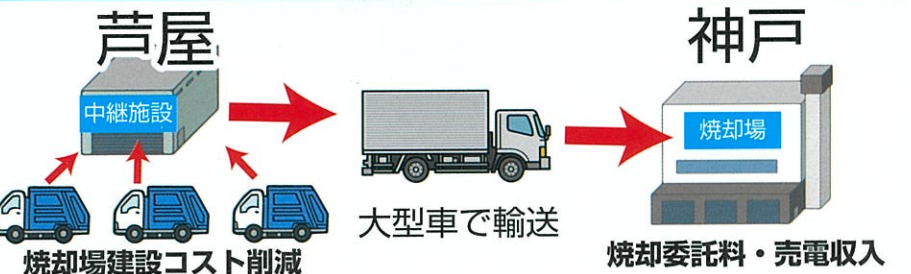
**環境局長** 現在両市で実務的な協議の場を立ち上げまして議論を重ねております。その中で、広域連携は技術的に可能であること、**芦屋市内で大型車に積み替えて搬入**してもらうこと、ルートなどは神戸市の計画に沿ってもらうことなどを伝え、**芦屋市からは積み替え中継施設の整備を検討**したいという意思表示がされたところです。また**CO2排出量も大幅に削減**できることも確認した。本市が圏域の中心都市として、全体の発展活性化に役割を果たしていくという意義があると考えており、双方市民にとってのメリットも示しできるように協議検討を進めてまいります。

**五島** 今後はさらにその他の都市にも広げられればと思うが、まずは**芦屋市さんと着実に進める**ようよろしくお願いします。

当局の皆さんに意識を持つ重要性を訴える。



### 両市にメリットのある広域連携



(他にも環境局に対して)三宮など繁華街での事業系ごみの出し方について、ナイトライフの充実をうたっている割に、**繁華街の歩道には夜になると事業系のごみ袋が山と積まれて景観が台無し**である。**ブロックごとに収集所**を設けるなど、市民の目につかないような収集の方法を考えるべきだ。また**ペットボトルなど売れる資源ごみはもっと高く売れる**、市民の環境への思いを利用して集めた資源ごみを安価で処分するのではなく、頑張って分別収集に協力した市民に還元してこそその環境行政だ。

#### ペットボトルの売却量と収入の推移

	令和3年	令和4年	令和5年予算	令和6年予算
売却収入	2,100万円	1億8,100万円	2億2,900万円	2億3,600万円
売却量	5,500トン	5,800トン	5,600トン	5,500トン

業者にほぼ無償で引き渡していたペットボトル、市場価格で売るように指摘し、以後売却収入が増加、このような取り組みはまだ余地が存在する。



# 重点予算要望項目 五島だいすけが本会議・委員会・予算要望など

2月から新年度・令和6年度予算を審議する予算特別委員会が開催されており、特段の問題がなければ3月には議会にて承認され、4月から予算執行がなされる流れとなっております。ここでは、これまで五島が皆様の声をいただき取り組んで参りました議会活動や予算要望が新年度予算にどのように反映されているのかをご紹介します。

本年も多くの予算を実現・前進させることが出来ましたので、ご覧ください。

## 北神こども急病センター

実現  
します

現在北神地域では、休日夜間などの急なこどもの発熱などについては、救急が遠くHAT神戸のこども初期急病センターまで車を走らせる必要があります。

済生会病院と三田市民病院の統合がある場合には、北神～三田の全ての人々の利便性を高めるため、こども急病センターの併設を要望しております。

この度、この要望に対する前段階の措置として、北神こども急病センター(仮)を現在の済生会病院の中に、地域の他の医院が診療していない時間帯開設する事になりました。

木曜日	19時～21時
日曜日	9時～12時



→覚えられないと思いますので、まずは#7119にお電話を！  
(診療開始は本年4月からを予定)

## 高校生通学費の無償化

実現  
します

北区の皆様の代弁者として、10年前初めて本会議にて質問した内容は電車代の高さでした。

「本当に高いですね!! (運賃が)」という言葉から始めた初質問は「???」と思われたに違いありませんが、南北アクセスの改善は素晴らしい住環境を持つ北区の私たちにとっては悲願、これが実現すれば大いに北区は生まれ変わると信じて活動を続けてまいりました。



神戸電鉄の運賃を半額には出来ませんが、何とか家計に負担が重い高校生の通学費について、北神急行だけでも割引制度を作れないかと要望し、北神急行の高校生通学費割引を実現、その後は全市への適用をしつこく要望を続けました。



その心は、子どもを育てていく上で年齢別に親の出費を考えた場合、高校生の子に対する

家計出費が大きいという事です。以前、知り合いのお子さんが六甲アイランド高校へ通う事になり、通学費負担が大きい事を理由に北区から引っ越して出て行ってしまった事も一つでした。

それから、北神急行が市営化され、運賃を大幅に下げることになりましたので、この北神急行の高校生通学費割引の予算を原資に通学費の割引制度を全市でつくるよう再度要望し、現在制度化されている高校生等通学定期券補助制度を実現しました。

令和6年度予算でとうとう市内高校等への通学費無償化が実現しますが、これまで地域の皆様から頂いた要望が大きく実現する事は、市政が大きく前進するものと大きく評価したいものです。

## ついに市内高校などは通学定期全額補助へ! (※)

通学先	～令和6年8月	令和6年9月～
市内	現行通り	全額補助
市外	現行通り	

現行：年額14万4千円を超える通学定期代の2分の1を補助

※どこかに線を引かねばならないため市外の高校に通う方や、スクールバスなどが対象ではない事について申し訳ないと思いますが、ご理解をお願いいたします。県や国が本来的な予算措置をしてくれる事を要望します。





## 長期休暇時の学童保育

実現  
します

「子どもが保育園を卒園し、小学校に通うようになった、子どもが授業のある日に仕事をしていたが、夏休みも仕事はあるので学童保育を申し込もうとすると、夏休みだけの保育は無いと言われた・・・ まだ小さい子どもを留守番させるわけにもいかない、仕事をやめないといけないのか」

こういった声をいただき、これまでも長期休暇のみの学童保育実現を要望してきました。

これまでは、「定員がいっぱいの学童がある」「保育スペースが園によってバラバラ」などの理由で必要性は認めつつも否定されてきました。

このため、保護者としては、**長期休暇に預けるために長期休暇以外の期間も学童に入会しなければならない状態が続いています。**

受け入れる側の学童保育も、実際狭い場所で沢山の子どもを預かっている場合や、スタッフの確保がうまくいかない事もあり、長期休暇の保育を実現するためにはハードルが多い事も事実です。

このいわゆる小1の壁を撤廃する事は神戸市の子育て環境を間違いなく向上させる事になります。そこで、2023年の予算要望で市長に対して、「いきなり全ての園での実施は無理でも、もともと過密な学童は施設の改修をする、長期休暇は小学校の教室を使う、人員不足や処遇改善のための予算を取るなどして段階的に実現していくべきだ」と訴えました(前回市政報告で報告)

この要望が通り、令和6年度にまずは40ヶ所で夏休みの学童保育が実現します。



受け入れる学童保育側の事情もありますので、どの園で可能になるのかは後日市のHPなどで公表される予定です。

## 西鈴蘭台駅および神鉄道場駅の自転車置き場を無料化

実現  
します

市内における無料と有料の駐輪場が、ルールなく偏在している事を過去に指摘しました。

例えば施設が充実しているのに無料の岡場駅自転車置き場に対して、屋根もなく雨ざらしの他駅の駐輪場が有料であり、どのようなルールがあって有料無料を分けているのか? という話です。この質疑により、無料化してもキャパシティがオーバーフローしてしまわない場合は無料化していく事が決定。

過年度の要望により、令和5年1月から西鈴蘭台駅駐輪場は既に無償化実現。今年度は4月から神鉄道場駅駐輪場の無償化が開始されます

## 学校開放の拡大

実現  
します

子どもからお年寄りまで、運動できる場を増やそう! と取り組みを行い、**中学校の体育館夜間開放を令和4年に実現、その後順次利用できる中学校を拡大してきております。**

市内の中学 83校のうち現在 61校で夜間開放が行われておりますが、この令和6年4月に3校が利用開始され64校が利用可能になる予定です。

北区の体育館  
夜間開放が  
利用できる  
中学校

有馬	有野	有野北	山田	桜の宮
北神戸	鈴蘭台	大池	星和台	鶴台
小部	大原	淡河		

4月から上記13校に加え唐櫃中学校が利用可能になります。

## 神鉄シーパスワン価格改定

実現  
します

昨年の本会議において複数種類あるシーパスワンのうち割高なものがあると指摘!

(販売開始は5月30日より、本年度から申し込みハガキの送付がございませんので、ご注意ください)

値下げ!

神戸市 神鉄シーパスワン

3,700円

本人限り有効

神戸市 神鉄シーパスワン plus

6,080円

↓

5,000円

本人限り有効

神戸市 神鉄シーパスワン 北神

6,500円

本人限り有効

## 神戸にもっと釣り場を!

実現  
します

これだけ海がある神戸市ですが、**公に釣りがOK! な場所は実は少ないのです。**

また、堤防釣りが全面禁止されたため、釣りファンの皆様から釣り場を増やしてほしいとの要望を沢山頂いてまいりました。

コロナ禍であった事もあり、屋外でできるスポーツとして再度着目すべきこの釣り、**釣りが身近で出来るというライフスタイルを実現し、釣りを通した親子の時間を作る事は素晴らしいであろう!**という事で、2018年に高潮に破壊された須磨海釣り公園の復活を含め、釣り場の確保を要望してきた結果が出ておりますのでご報告いたします。

- 須磨海釣り公園  
今年(令和6年)11月から再開予定
- 六甲マリンパーク 令和6年度リニューアル工事を行い、令和7年春に釣り可能な公園としてOPENを予定
- ポートアイランド西緑地  
令和6年度設計、7年度工事を行い可能であれば7年度中にOPENを目論む





# 神戸の港湾機能の重要性と今後について

ここでは、港がなぜ重要なのか？また、今後の港湾のためにどのような事業が必要で、市政においてどのように取り組んでいるのかを報告いたします。

## ●神戸の街の生い立ちと港湾の重要性

神戸はもともと大輪田泊=兵庫津という港から始まった街で、現在では神戸港を中心とする港湾物流産業が全市GDPの3割を生み出しているといわれています。日本の中枢港という役割を維持発展させていかなければ、物流の中心が他所へ移り、港湾関係の仕事が直接している企業だけでなく間接的に仕事をしている企業にも大きなダメージとなってしまいます。



大輪田泊の名は和和御寄(和和岬)に残る。摂津名所図会を参考にしたイラスト

現在の物流の中心である海上コンテナによる輸入・輸出などの中心が神戸港であることは、例えば海外向けの輸出企業が神戸港の近くで製造するインセンティブになっていますし、輸入したものを加工やパッケージして販売する輸入事業者も同じです。

これらの物流を担うトラックなどで陸上輸送を担っていただく物流事業者、また、中小港と小規模なコンテナ船で国内のコンテナ海上輸送を担っていただく内航事業者、そして物の保管や配送を行うための倉庫を運営する倉庫事業者、これら事業者が機材や消費財、メンテナンス



コンテナ港を視察する五島だいき。

などのサービスを行う間接事業者など、すそ野の広い経済が神戸に存在しており、多くの市民がそこで働いています。

こういう意味で、**中枢港である機能を維持発展させ、神戸経済の基礎を今後も安定的に涵養していく事が重要な**のです。

## ●カーボンニュートラルポートへの取り組み

カーボンニュートラルは港湾物流の世界にも影響があります。荷主であるメーカーなどが生産現場でのCO2排出量だけではなく、消費者に届くまでの物流経路におけるCO2発生量を抑えようとしており、**コンテナ船や荷役機械、海上コンテナトラックなどの排出量が少ない港湾を選好する世の流れになろう**としています。



神戸港でも、このカーボンニュートラルポート達成のために既に様々な予算が組まれています。今後も**水素燃料電池**などを利用した



荷役機械への切り替えが課題になってくると考えられますので、**国費も取りつつ機材の更新をする必要があります。**

## ●カーボンニュートラルとヤード渋滞

カーボンニュートラルと言うのであれば、コンテナヤードの荷役機械のみならず、**ヤード前で渋滞しているコンテナ車の方がどう見てもCO2排出量が多い**です。このヤード前渋滞の解消は**そもそものトラックドライバーの労働環境改善はもちろん、カーボンニュートラルのためにも大事**なのです。

ヤード渋滞の解消については以前から力をいれていますが、まだまだ解消には至っておらずの状況で、これは**ドライバーさんたちにお待たせしてしまって本当に申し訳ない気持ち**です。



「ヤード渋滞並ぶのが仕事だ」というドライバーさんも……。ヤード渋滞、夜まで並ぶ事も。労働環境改善のため解消が急務！

## ●物流の2024年問題とヤード渋滞とCONPAS

この「ヤード渋滞の対策をせよ！」という要望に対して「**CONPASというDXでの対策**をさせてください」というのが神戸市の方針なのですが、数ある神戸市のコンテナヤードで、これまで実証実験を行ってきた**CONPASをPC18というエリアでこの2024年4月から本格導入**を行う事になっています。

本格導入の課題はまだ残っているものの、この仕組みでヤード渋滞の解消やコンテナ搬出入の効率化を目論んでいるものですが、まずはやる事に対して期待をしたいと思っています。



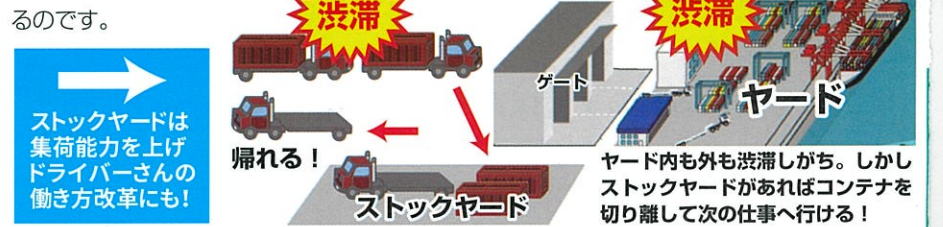
2024年4月からトラックドライバーの時間外労働の上限規制等が適用される、いわゆる**物流の2024年問題**ですが、ヤード渋滞で待たされる時間は2024年問題においても大きな要素になります。

この対策としても「CONPASの導入が解決策！」と神戸市当局は主張をしています。確かにPC18でヤード渋滞が解消されれば、効果はあるのですがPC18はコンテナヤードの一部であり、他のヤードでの本格導入はまだまだ先の話です。

「**物流事業者にとっては、もうここまで来ている2024年問題に対してあまりにものんびりした対応ではないか？**」という議論をしています。

## ●CONPAS全体導入までの取り組みは？

他のヤードでは導入がまだ先、2024年問題は4月から、「CONPASでヤード渋滞が緩和解消されるとして、それまでの期間はどうか？例えば**混雑する箇所にストックヤードを効果的に配置して、本格導入までのつなぎなどの対策をしていくべきではないか？**」という要望を行っています。**混雑時にストックヤードでコンテナを切り離す事が出来ればドライバーは次の仕事に向かう事ができますので、働き方改革になるとともに、神戸全体の集荷能力の向上にも貢献する事が出来る**のです。



## ●海上コンテナ以外のトラックと2024年問題

ヤード渋滞問題は、コンテナヤードが荷主ではないという特殊性から別途議論している課題ですが、海上コンテナを扱うトレーラーと普通のトラックでは当然普通のトラックの数が多く、**全ての皆さんの仕事の環境を官民で整えていくことが重要な課題**です。

物流事業者が仕事をしやすい環境づくりを、**神戸市がインフラ整備などをすするときに意識していく事も重要**です。「**近年の街づくりは歩行者に重点をおいた道路づくりに傾きすぎていて、クルマを使った仕事をすすめる人には全く優しくないものになっている、バランスを取っていくことが重要ではないか？**」という議論も議会で行っています。



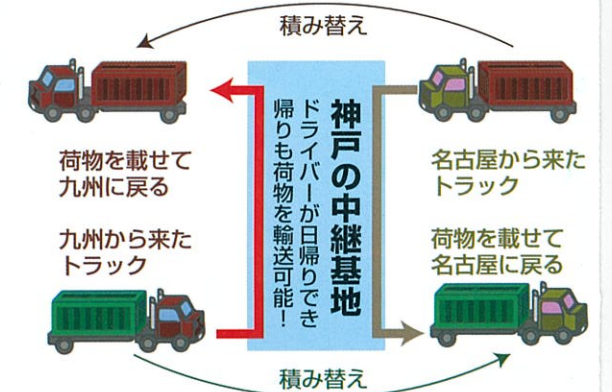
三宮交差点(阪急百貨店前)将来図、見た目は非常に綺麗だが、物流はどうなるのか？他の道が渋滞するのではないかな？大震災に遭った街として道路の重要性を忘れていないか？

## ●新たな技術に対応する取り組みも必要

人材不足などによる、トラックの自動運転や連結化などに対応していく**必要**があります。既に**中継地点でトラックドライバーが交代したり、荷物を積みかえたり、コンテナシャーシを付け替える中継輸送の取り組みが始まっています。**

将来は連結トラックやコンテナが高速道路を走行する時代が来るとされていますが、市街地を走るほどの道路の整備はまだ先です。高速道路網を利用した連結輸送を行い、インターチェンジ周辺で切り離しや連結を行いながら目的地まで輸送する、いわば**荷物の駅のような大規模スイッチングセンターが必要になる**でしょう。

「**高速道路が縦横に走る神戸は地の利がある、神戸港の背後地である内陸に、スイッチングセンターが存在する事は将来の神戸港の競争力の維持強化につながる。**」こういった議論も展開しています。



## ●事業のための土地が足りない

神戸空港島などには土地が余っているように見えますが、**使用用途別でみると港湾物流用地や産業用地が実は酷く不足している**のが実情です。物流倉庫の建て替えのための土地(倉庫内に荷物があることや、業務を中断する事が出来ないため、現地での建て替えは困難)や、海上コンテナ車のシャーシを置く駐車場も不足している状況です、**阪神高速5号湾岸線の延伸工事の影響もありますが、あらたに必要とされる事業用地を提供できない事は、せっかくの成長の源を断ってしまう事にもつながりかねない**ため、対策が必要です。

阪神高速延伸工事までの**商業用地の弾力的な運用や、港湾計画に基づく新たな埋め立て工事の早期化などを要望**しているところです。





news

神戸市会にて令和6年度当初予算を可決しました

### 主な新規・拡充施策

一部掲載

#### 子育て支援

市内高校への通学を無償化 **12.3億円**

現行の月12,000円を超える費用の1/2を補助から、9月より市内高校への通学を無償化

こべっこウェルカム定期便の開始 **2.1億円**

子どもが生まれた世帯に育児用品等を月1回、見守りを含めて計10回配達

低所得の子育て世帯への給付 **25.2億円**

令和6年度に新たに低所得となる世帯へ児童1人当たり5万円給付

高等教育の負担軽減の拡大 **0.3億円**

市内在住の高専生の授業料負担額を市内高校と同程度になるよう支援

児童館の利活用の推進 **3.4億円**

児童館の愛称「こどもっとひろば」の看板設置や子育てチャーフアドバイザーの配置など

#### くらし

路上喫煙及びばい捨て対策 **1.08億円**

路上喫煙禁止地区における屋内型喫煙所整備補助の創設など

特命チームによる空き家対策 **0.88億円**

弁護士を含む特命チームを新設し、財産管理制度の積極的な活用による危険・所有者不明空き家の早期改善を促進

こうべ菜園プロジェクト **0.26億円**

公園を活用した貸し農園「菜園」事業の実施

地域コミュニティ交通の支援制度の拡充 **0.13億円**

敬老福祉制度の地域コミュニティ交通への適用

#### 神戸空港の国際化 **178.7億円**

駐機場拡張や新ターミナル整備、歩行者デッキの設計・検討など



#### 市民支援

物価高騰に対する経済支援 **170.5億円**

定額減税や住民税均等割のみ課税世帯への10万円給付など

#### 事業者支援

事業者の人材確保に対する支援 **2.7億円**

神戸市内企業住宅手当等支援補助金の創設(企業の住宅手当の1/2、月額1万円上限)など

#### その他

坂を活かしたブランディング戦略 **0.55億円**

坂の多い街神戸としてのブランディング戦略の検討と坂道における環境改善の推進

バスケットボールの振興 **0.38億円**

神戸ストークスの本拠地移転にあわせたバスケットボールの振興など

令和6年能登半島地震の被災地支援 **1.05億円**

被災地への職員派遣等の実施や市営住宅の無償提供

震災30年関連事業 **2.7億円**

神戸防災のつどい2025開催や神戸港震災メモリアルパークの展示改修など

誇りを胸に  
未来を拓く神戸。

# 「神戸で良かっただ！」と想える街づくりを目指します。

私たち、自由民主党神戸市会議員団は、神戸市民の皆様のお声を伺い、政策の実現に一丸となり取り組んでいます



## 自由民主党神戸市会議員団

Liberal Democratic Party of KOBE

TEL.078-322-5846

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号

HPアドレス <http://www.jimin-kobe.com/>



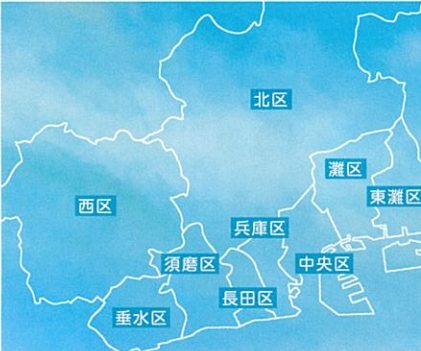


# 自由民主党神戸市会議員団

令和5年度の議会活動を中心にご報告いたします

※各議員の2次元コードより、自民党プロフィールサイトをご覧ください。

# 活動だ



## 東灘区

副幹事長

うへはた のりひろ

tel.050-3573-1204 fax.078-330-0239

uehata.kobe@gmail.com

脱中国依存を実現!

上海から神戸事務所撤退!

中国政府は不当に日本人駐在員を拘束しています。神戸市はそんな中で中国国内に税金を投じて上海に事務所を設置。その後、中国人職員の不正経理も発覚し、設立の経緯にも疑義のある事務所の撤退を議会でも要求し、遂に上海から事務所撤退が決定! 学校給食から中国産食材ゼロや神戸港と武漢港の覚書の失効に続き、脱中国を実現しました。



▲令和6年2月26日(月) 予算特別委員会質疑にて



## 東灘区

副政調会長

大野 陽平

tel.078-851-6996 fax.078-854-2300

yoheiohno11@gmail.com

海軍操練所跡は港、観光、歴史的価値を最大限に活かすべき

【局長答弁】おっしゃる通り、港、市の発展の礎でもある貴重な史跡であり、観光面でも幕末のファン層は大変多い。まず神戸市指定の史跡を視野に取り組みたい。文化庁からも将来に残すべき重要な近代遺産だと評価されている。保存活用に当たっては様々な知恵も含めて、文化財としてもしっかりと見せられるように、可能性を研究してまいりたい。



▲令和6年2月28日(水) 予算特別委員会 文化スポーツ局審査にて



## 中央区

市会副議長

河南 忠和

tel.078-806-8633 fax.078-806-8653

kobe.kawanami@gmail.com

県市が力を合わせて元町駅のバリアフリー実現を!

兵庫県と神戸市との間で政策の意見交換を行いました。私からは、JR 元町駅東口・西口のバリアフリー化の1日も早い実現と市役所2号館への国際的ラグジュアリーホテル整備実現への協力をお願いし、また5月に開催される神戸2024世界パラ陸上を成功させ、支えあう社会の実現に県市で頑張りたいとの発言を致しました。



▲令和5年12月25日(月) 兵庫県・神戸市調整会議にて



## 兵庫区

副政調会長

平野 達司

tel.078-531-8780 fax.078-531-5301

th.tatsuji.hirano@gmail.com

中央卸売市場活性化に市組織全体横断的に取り組むべき

【局長答弁】中央卸売市場の役割を果たすための環境作りは非常に重要。物流の拠点性を高め機能を強化し、生産部門の農業振興、消費者に近い市場商店街への働きかけ、観光で域外消費の拡大で市場取扱量の拡大、生産量の拡大、全て繋がる事業。生産から消費まで観光を含め一気通貫で経済観光局一丸となって取り組んで参りたい。



▲令和6年3月4日(月) 予算特別委員会 経済観光局審査にて



## 北区

政調会長

うえなか 雅子

tel.078-583-8060 fax.078-583-4696

uenakamasako8060@blue.ocn.ne.jp

区役所窓口外部委託化の成果は?

先行実施区の兵庫・北神・長田・西の区役所では、接遇面等で評価を得ており、市民サービスの水準は確保できてはいるものの、想定以上の委託人件費の高騰が続き今後の他区展開は見送るとの事。令和7年・令和9年の契約更新時期に於いては、スリムで持続可能な業務体制維持の為、直営の選択も視野に、妥当性のある運営をすべき。



▲令和6年3月5日(火) 第4委員会室 地域協働局質疑にて



## 長田区

団長

平井 真千子

tel./fax.078-643-0647

machiko.h@earth.ocn.ne.jp

子供達の健全育成と地元経済を応援!

予算特別委員会において、こども家庭局には幼児の特別支援教育について。経済港湾局にはファッション産業の振興、小売市場を消滅させないための支援について。教育委員会には黙食の問題点、小学校での虫歯予防についてを質疑。子供達の健やかな育ちと、次世代に魅力ある神戸を引き継ぐことをテーマに取り組んでいます。



▲令和6年3月6日(水) 予算特別委員会 教育委員会審査にて



## 垂水区

副幹事長

岡田 ゆうじ

tel.090-9259-1555 fax.078-330-2335

mail@okadayuji.net

一旦閉鎖が確定した「UNITY 市民講座」の存続

一旦閉鎖が確定した神戸研究学園都市大学交流推進協議会の UNITY 市民講座について、存続を求める受講生 1,111 筆の署名を、受講生代表らと共に市に提出。2023年12月7日の本会議において、岡田ゆうじ議員より改めて UNITY 市民講座の存続を求めたところ、神戸市外国語大学を実施主体として、全語学講座が2024年4月以降も存続することに。



▲令和5年12月7日(木) 本会議にて



## 西区

坊池 正

tel.078-965-0400

bouike@nifty.com

神戸市危機管理対応と災害時等における緊急時食の確保等について

大規模災害等における初動時対応で緊急援助隊救助チームとDMATO医療チームの連携活動で要救助者の救命率の向上を図る。また、大規模災害時等の緊急食確保に、「BE KOBE」表示の市内産農産物を最大限活用して避難民の食事と健康維持管理に努め、避難所等での安心感の確保に努めるとともに市内産農産物の活用で温かい食事提供を。



▲令和6年2月29日(木) 予算特別委員会 第2分科会 危機管理室質疑にて





# より

## 神戸の明るい未来のため 私たちは全力で活動しております

灘区

幹事・広報

### 吉田 健吾

tel.078-861-5566 fax.078-861-3456

✉ gogo@yoshidakengo.jp

#### 時代に応じた教育の提供と 事務局の組織体制

人口増加から減少へ時代背景が変わり、教員の多忙化対策をしつつ、個別最適な教育や先進的な教育の提供が求められます。動画パッケージでの授業運営、中高一貫校、いじめ等対応専門チームなど、今までにない取り組みを進め、個々の能力が最大限引き出される新しい神戸の教育環境が創られるよう、引き続き提案をしていきます。



▲令和6年3月6日(水)  
予算特別委員会  
教育委員会局別審査にて



灘区

### 浅井 みか

tel.080-5818-4408 fax.078-322-5548

✉ mail@asaimika.com

#### こべっこウェルカム定期便新設、 家事代行サービス拡充!

神戸市では保育園 / 学童が充実する一方でソフト面の子育て支援に機会がありました。子育て教育 No.1 を目指して決算特別委員会で要望しこの度、①各家庭の見守り機能を備え、産後におむつやミルクを配達する定期便の新設と、②一人/一家庭で子育てと仕事の両立に苦しまない社会を目指し産後家事代行サービスの補助拡充を実現しました。



▲令和5年9月29日(金)  
決算特別委員会  
子ども家庭局審査にて



北区

全国市議会議長会会長 市会議長

### 坊 やすなが

tel.078-983-1711 fax.078-983-1719

✉ yasunaga.bo@gmail.com

#### 阪神淡路大震災時のご恩返しを! 全国市議会議長会会長に就任

能登半島地震において被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げます。私達は阪神淡路大震災を経験し、全国から多大なるご支援ご協力を頂き神戸は復興を成し遂げました。次は神戸から全国に貢献し恩返しをとの思いで昨年6月全議会議長に立候補し選出頂きました。神戸の名に恥じないよう強い思いを持って誠実に事にあたっております。



▲令和6年3月9日(土)  
石川県輪島市役所  
全議会議長会贈呈式



北区

### 五島 だいすけ

tel.078-322-5846 fax.078-322-5548

✉ mail@goto-daisuke.net

#### クリーンセンターで発電した 電力を自己託送し収入増を

【五島】発電した余剰電力を電気事業者の送配電ネットワークを介し本市施設へ送る自己託送、市の収入増への効果は?【部長答弁】発電した電力を自己施設に供給する(買電しない)ため今回西クリーンセンターで開始する取り組みで電気料金1億5千万円の削減効果を見込む。  
【五島】水道代/バス代が上がる中、取り組みを拡大し市民に還元するように。



▲令和6年2月26日(月)  
予算特別委員会 環境局審査にて



須磨区

### むらの 誠一

tel.078-739-8889 fax.078-739-8887

✉ mail@murano.gr.jp

#### クリーンステーション管理の 負担軽減を実現しました!!

令和6年4月よりゴミ収集後の掃除やカラス対策ネットの片付けを環境局の職員が行います!!



▲令和5年5月25日(木)  
5月議会 一般質問にて



垂水区

幹事長

### しらくに 高太郎

tel.078-704-6060 fax.078-709-5252

✉ info@shirakuni.net

#### 市内大学と連携し経済政策の 検証と研究をすべきと考えるが。

【市長答弁要旨】昨年7月に神戸大学と経済観光局で経済施策の立案・検証に経済学的知見を反映することを目的に連携協定を締結した。大学の知見の活用を通じて経済政策に係る検証・研究に取組み、神戸経済の持続的な成長と活性化につなげて参りたい。大学連携については、アカデミア出身の黒田副市長のアドバイスも受けながら適切に進めて参りたい。



▲令和6年2月21日(水)  
本会議 代表質疑にて



西区

幹事・会計

### 山口 由美

tel./fax.078-777-6933

✉ yamaguchi@yumiguma.com

#### 新生児の搬送体制の構築

【山口】神戸で安心して出産し、生まれた子が命を落とすことなく、適切な医療につながり、出産を支える医療機関の不安や負担を減らす体制を作ってほしいです。

【局長】神戸市の現状を把握し、関係者のご意見を聞きながら、議論を進めていきます。



▲令和6年2月28日(水)  
予算特別委員会 第2分科会  
健康局審査にて



西区

### 山下 てんせい

tel.080-5341-3710 fax.078-961-3849

🌐 https://www.yamashita-tensei.com

#### 農業公園の再整備の予算の 記載が無いが、大丈夫ですか?

【局長答弁】農業公園は従来の食と農に加え、SDGsの推進の観点で新たな施策を創出し、既存施策の見直し・改善を行っていく。耕作放棄地をはじめとする里山地域の課題解決や里山資源を生かした新事業など、新たな事業創出を目指す。スケジュールの関係で当初予算の確保ができていないが、計画、募集と進めるための予算確保に努めていく。



▲令和6年3月4日(月)  
予算特別委員会 経済観光局審査にて





# 自由民主党神戸市議員団 団長 ご挨拶 平井 まち子

来年には阪神淡路大震災から30年を迎えようとする今、内外からの支援への感謝を忘れることなく、これからも神戸が世界に貢献できる活気と魅力にあふれる都市づくりを牽引することが私達自由民主党神戸市議員団の使命です。少子高齢社会、物価高騰などの課題に立ち向かうためにも、日頃市民の皆様からいただくお声、事業や福祉など様々な現場からのお声を予算案に反映すべく、今市会でも議論を行ってききましたので、ご報告いたします。



▲要望懇談会や勉強会などを重ね、リアルな声を政策に反映させるよう努めています。

## 令和6年2月議会 3名代表質疑を行いました ※一部要旨

### 質疑者 ・ しらくに 高太郎



▲令和6年2月21日(水) 本会議代表質疑にて

#### 「SDGs貢献都市神戸」の実現に向けて

**Q** 当初予算案では、「SDGs貢献都市神戸」の実現に向けた施策も数多く計上されている。SDGs推進課も新設され、黒田新副市長の手腕により各局横断的な取組みがより強力に推進されると期待している。まずは、森林保全・整備や六甲山の環境改善などが中心になると考えるが副市長の決意を伺いたい。

まずは専門分野である森林を中心に取組んでいく。市域の約4割の2万ヘクタール以上が森林であり、その9割以上が広葉樹林である。また所有者の6割が私有林であるが、薪や炭が使われなくなったため、手入れがされず荒廃しつつある。伐採などの整備を行い、材により高い価値を持たせて活用し新たな木を育てるといった循環を生み出す必要がある。そこで、市有林、その後私有林の資源を有効に活用する森林管理の実践、そして資源把握をしたいと考えている。また、様々な形で木材を使い切るカスケード利用の仕組みを実現させたいと考えている。

**A** [黒田慶子副市長]

#### 人口減少を踏まえた外郭団体のあり方について

**Q** 外郭団体のあり方も人口減少を踏まえたものに変革していく必要がある。来年度はどのような見直しを検討しているのか。

中小企業では人材不足が深刻化する一方、就労意欲が高いシニア世代を積極的に活用できていない。そこで高齢者の就労意欲と雇用者側のニーズをマッチングさせる機能や支援体制をより強化するために、産業振興財団と神戸いきいき勤労財団の統合の検討を始めた。また神戸ハーバーランド株式会社について、より民間事業者主導の団体へ移行する検討などを行っている。

**A** [久元きょう市長]

### 質疑者 ・ うえなか 雅子



▲令和6年2月21日(水) 本会議代表質疑にて

#### 国際化へのまちづくりと空港の機能強化

**Q** 神戸空港が持つ能力を最大限発揮させ、国際化の効果が神戸のさらなる成長・発展に繋がるよう、国際化を見据えた今後のまちづくり戦略の構築や空港の整備、機能強化はどのように進めるのか？

##### 【国際化に向けたまちづくり】

国際化する空港インフラを活用し、ビジネスや観光需要の創出、教育、住環境等、外国人にとっても、住み・学び・働きやすい環境整備と、大学と連携した留学生の受け入れ等を進める。若年人口や生産年齢人口の減少の中、海外からも人や物を取り込み、都市の成長に繋げたい。

##### 【空港の機能強化】

エプロン等空港基本施設の拡張や新ターミナルの整備、新規エアラインの誘致や神戸市以西の市場開拓、広域交通ネットワークの構築に取り組む。

**A** [久元きょう市長]

#### 保育環境の充実について

**Q** 待機児童対策やこどもの遊び場拠点の整備等、本市が展開してきた切れ目のない子育て支援のさらなる充実策は？

- ①老朽改築事業の補助額の大幅増額(上限2.5億円→12億円)
- ②毎月の施設型給付費申請に係る事務負担の軽減
- ③4.5歳児の保育士職員配置基準の改善(30対1→25対1)
- ④民間児童福祉施設給与改善費補助を小規模保育事業等に拡充・拡大
- ⑤保育園における「すこやか保育」の県への補助制度拡充要望により、受け入れ児童が1人の場合でも年額78万円に引き上げられる。

**A** [小原徳副市長]

### 質疑者 ・ 浅井 みか



▲令和6年2月21日(水) 本会議代表質疑にて

#### 子育て/教育といえば神戸となる街に!

**Q** 子育て教育といえば神戸と言われ、子育て世代に選ばれる街を目指すべきと提案してきた。本予算案では、高校生の通学定期無償化、こべっこウェルカム定期便の新設等、我が会派が提案してきた子育て支援策が多く盛り込まれているが、どのような観点で子育て支援策の充実を図っていくのか。

妊娠出産期からの切れ目のない支援提供に努め、子育て教育の不安/負担軽減等の視点をこれまで以上に盛り込み、予算編成を実施した。以下が例：

- ①市内高校に通う定期無償化
- ②オムツ等の育児用品を計10回生後3ヶ月目以降のおさんのいるご家庭にお届けし、併せて声掛けなどの見守りを行うこべっこウェルカム定期便をスタート
- ③子ども誰でも通園制度の試行実施
- ④児童館へ子供子育てチームアドバイザーの全館配置
- ⑤保育士配置基準の改善、保育士などの保育所などの老朽改築の促進
- ⑥病児保育施設や医療的ケア児受け入れ施設の拡充
- ⑦こども家庭センターの体制強化、児童家庭支援センターの増設
- ⑧こべっこ発達専門チームの東部地域への展開による発達相談支援体制の強化など

**A** [久元きょう市長]

**Q** 国際都市神戸で子育てするうえで、経済力問わず英語教育の環境が充実した施設に子を預けられるのであれば、更に街として魅力的である。これまで保育所や学童保育において、看護師の配置を求めてきたが、加えてネイティブレベルの人材を配置するための補助などを検討できないか。

将来の国際感覚の基礎を築くことは非常に重要なこと。他都市の取り組み、保護者のニーズ、事業者の声もお聞きしながら、研究していく。

**A** [久元市長]

### future KOBE 子育てしやすい街 神戸を目指して

神戸市は公園の整備を推進してきた結果、他都市と比較しても高水準の整備状況に至っています。皆様の日常生活に密着した「気軽に利用できる身近なオープンスペース」をこれからもご活用ください。

令和4年4月1日現在、20ある政令指定都市中、1人当たりの都市公園面積は、17.45㎡で1位。

TOPIC





ごとう  
**五島 だいすけ通信**  
http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net

神戸市会議員

2024年  
春号



いつも本市政報告をお読みいただきありがとうございます。いま、令和6年度予算審議を終えたところですが、今年度予算には高校生の通学定期券無償化予算も含まれており、これについて様々な質問やご意見を寄せて頂くため、現在の制度運用予定を詳細に知っていただくためのご報告を表面にてさせていただきます。

また、この予算も含め近年子育て施策がトレンドとなっており、予算に占める金銭的なインパクトも大きくなってきているため、こういった予算に対する考え方と市政での取り組み方針のご報告を裏面にてさせていただきます。ぜひ最後までお読みください。

通学定期 IC CARD

# ついに始まる! 高校生等 通学定期 無償化

この令和6年度に実現した、高校生等通学定期券無償化予算。  
皆さんからいろいろな質問を頂いたので、  
あらためて内容をご報告させていただきます。

通学定期 IC CARD

**対象者は?**  
神戸市にお住まいの高校生等で、神戸市内の高校等に通う方が対象です。

**いつからなの?**  
令和6年の9月からです。制度運用に準備がかかりますのでしばらくお待ちください。

**高校生等の「等」はどこまでが範囲なの?**

- 高等学校(全日制・定時制・通信制)
- 高等専門学校(3学年まで)
- 専修学校(高等課程)
- 外国人学校 が、対象です。

**対象になる定期券は?**  
電車バス等公共交通機関の通学定期券が対象。特急・新幹線・通勤定期は対象外です。

**高額通学費割引はどうなるの?**  
定期券購入額のうち月額12,000円を超える部分の半額を補助する高額通学費割引制度は継続します。市外の学校へ通う方などに引き続き制度利用して下さいと思います。

※市外の高校等へ通う生徒も対象にならないの? → 申し訳ありませんが、制度を作る上で、どこかに線を引かねばなりません。広域の通学は県に予算措置をしてもらうべき事項でもありますので、県に要望をしてみたいと思います。

※スクールバスは対象にならないの? → 申し訳ありませんが対象外です。有料のスクールバスもあり、その生徒からは「対象にして!」との声があります。スクールバスを増やす学校が出てきた場合など歯止めが効かなくなるおそれもあるとのことで、こちらも一定線を引く必要があるとの判断がなされました。

※通信制の高校は月の出席が12日以上なければ定期券の助成が受けられません。通信制学校に通う生徒が、よく利用していた「通学割引回数券」は阪神阪急で昨年廃止、神戸電鉄で本年廃止になるため、例えば週に1回のみ通学する場合などに何らかの割引措置ができないのか? と思われまます。方法論も含めて検討・要望いたします。

## 北区からの通学費が高い!

と戦い続け、これまでに北神急行(現在の市営地下鉄、谷上~新神戸)の高校生通学費割引制度や、その後の高額通学費割引制度を実現させてまいりました。

この度、市政報告前号でも報告させて頂きましたが、高校生の通学定期券無償化を実現させる事が出来たのも、北区の皆様からの強い後押しがあったからこそです。今後も様々な課題に挑戦し、市政を改善する努力を続けてまいりますので、ご指導をお願いいたします。



# 子育てのための無償化施策の拡大に対する考え方について

## 本当に子どもが増えるのか？ 都市間競争の材料か？

無償化で出生率は上がるのか？効果があるのは間違いないでしょう、しかし、間接的に上がる事はあっても**直接的な効果は限定的**ではないか？というのが私の考えです。**根本的には所得**やパートナーとの関係や生活環境が影響の大きいものだと考えられます。



ただ、**都市間競争の材料には間違いなくっており、無償化は転入者を獲得する手段**です。本来的な都市の魅力とは違うものですが、やらざるを得ない戦いというところで、国には**所得を向上させてくれるような根本的な変革**をするよう働きかけを継続してまいります。

## 我々市民が経費負担をしている事を忘れてはならない

現在、都市間競争としても、子育て施策は進めるべきだというトレンドとなっています。

この無償化自体は恩恵を受ける方々にとっては純粋にありがたい政策である事は間違いないものですが、その**原資は皆さんからいただいた税金である事には留意が必要**です。

政策のための資金が急に湧いて出るわけではなく、例えば令和6年度予算の高校生通学定期無償化施策には9月からの支給のために約12億円が必要となりますし、来年度からも継続するのであれば約20億円の予算が必要になります。

**20億円**というのは、神戸市民が150万人と仮定して**市民一人当たり1,333円の負担**が必要になるという事です。

ですから、**何でもかんでも無償化に走る事は不可能**です。選択する政策は子育て世帯が本当に有難いと思える政策であり、かつ、**コストパフォーマンスの良いものでなければなりません**。



## 助成するためのシステムコストも必要になる

助成金を分配しようとするとき、市役所職員だけでは手が足りないこともあります。また、例えば消費喚起策のための電子商品券を配布する政策を打つときには、そのためのシステム整備が必要になる場合もあり、これらには**全てコストがかかります**。

今回の高校生通学定期券無償化事業などは、高校生個々人に対する給付額が住所地や学校、何か月定期なのか？等でそれぞれ違うため、配分するための作業はかなり煩雑なものになる事が予想されます。

政府の補助金給付のために委託した事業者が、再委託したり別の事業者へ丸投げしたりといういわゆる**「中抜き」といわれるような事が神戸市であってはな**

**らない**と考えています。一方で**地元事業者が事業を担うことが出来れば市内経済活性化**にもつながりますので、委託費が**安ければいいという選び方も違います**。様々な視点も持ちながら事業を進める必要があると考えています。



**「中抜き」は無用！システムコストはできるだけ安く  
地元の経済効果に資するように**

## コストパフォーマンスの良い 子育て施策とは何か？

例えばこどもの医療費助成の施策ですが、神戸市では現在高校生まで1医療機関あたり400円で受診できる助成制度になっています（入院は無料です）これが無償になっている都市もあり、「どうせなら子育てのために無料にしろ!!」という声も確かにあります。ただ、これについては**コストパフォーマンスを考える必要があります**。

一昨年までは中学生までが医療費助成の対象で、高校生は3割負担でした、そこで私が市長に要望したのは、「400円負担を500円負担に100円負担額を増額しても良いので、対象を高校生まで拡大してもらえないか？」という事でした。

これは私見ですが、**医療費負担の1回あたり400円が無料になるからといって、引越すかどうかの意思決定に影響は無い**と思いますし、ましてやもう一人子供を産もう！という動機付けには**ならない**と考えたのです。

むしろ**都市間競争のマイナス要素としては、対象範囲に高校生が入っていないという事実が大きい**ものでした。

## 我々市民の負担を少し増やしても 恩恵を受ける範囲が広がる方が 上策ではないか？

医療費の窓口負担が400円負担であるところを**100円多く皆さんに負担してもらおうと、全体として4億円の経費削減**になります、そして**高校生を対象を拡大すると7億円の経費増**になる試算でしたので、プラスマイナスして**3億円の予算増で高校生まで医療費助成が拡大**できるではないかと考えたわけです。

結果として400円負担のまま高校生まで助成範囲を拡大したわけですが、



さてここで、この医療費助成をすべて無償にすると幾らの予算がかかるのか？ **なんと医療費をゼロにすると市全体で約30億円の予算が必要**と試算されているのです。

「医療費が無料!!」「無料!!」という言葉には確かにインパクトはありますから、子育て施策頑張っている!!というイメージは付くでしょう、ですが、30億円の市民負担がその裏にはあるわけです。

実際に、**30億円をかけて医療費無償化を実施していた場合、今年度に決めた高校生の通学定期券無償化の20億円の財源は取れていたか？**と考えると恐ろしい事です。

賛否はあると思いますが、医療費を無償化するのであれば、高校生の通学定期券を無償化（実際私は個人負担分がいくらあっても良いと考えていますが……）する方が政策としては上策であると考えますが、いかがでしょうか？

子育て施策だけでなく、全ての施策について、**「その予算は本当に必要か？」という精査**をしながら、審議を重ねる必要があると考えています。

特定のグループに属する人だけが恩恵を受けることは妥当ではないし、子育て施策メニューを増やす場合、**直接恩恵がない世代の皆さんに感謝を忘れず**に政策決定をしていく必要があると考え、これからも取り組みを進めてまいります。



**税という市民負担がある事に感謝を忘れず、恩恵を最大化していきたい!**



郵便はがき



自由民主党神戸市会議員団

神戸市会議員 **上富のりひろ** うえはた



神戸市政  
報告

↑ に対する政策提言・市政相談はこちらまで

**高市早苗大臣に  
特別市法制化を提言!**



政令指定都市は神戸市を含め20市あります。その存在は経済圏としては勿論のこと、政令市の存在は周辺自治体にも好影響があります。神戸市も芦屋市のごみ処理や明石市への水道管利用など周辺自治体にも役立ち、手数料収入で神戸市としての収益増や福祉の向上を目指しています。神戸市が特別市となることはより神戸市が日本国民たる神戸市民の皆様の福祉向上に資することにつながり、国家のエンジンとしての更なる飛躍につながります!

発行：自由民主党神戸市会議員団(神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階)

TEL：078-322-5846 FAX：078-330-0239

E-mail：uehata.kobe.japan@gmail.com

## 高市早苗 国務大臣に対して 外国人生活保護の廃止を要請!

### 中国領事館が中国人の生活保護について 神戸市に要求する実態が明らかに!

神戸市の外国人生活保護だけでも約59億円にのぼります。最高裁判決では外国人は生活保護法の対象外と明確になりました。中国領事館は大国であるにも関わらず、自国民の生活保護を一自治体である神戸市に要求している実態について上富のりひろが議会の追及で明らかにしました。生活保護は私達日本国民のための制度です。在日中国人の保護は中国政府の出先機関である中国大使館や領事館が保護すれば良いことです。日本国民の血税を使って保護する必要はありません。しかし、厚生省の通知が原因で未だに支払われています!



### 自由民主党神戸市会議員団は外国人生活保護の 廃止実現の為、通知見直しを国に要求するよう 神戸市に正式に要請!

私はこれまで外国人生活保護の問題について議会で何度と取り上げて参りました。しかし、外国人生活保護を廃止にする為には多くの方々を知って頂き、外国人生活保護の廃止を求める世論喚起が必須です。皆様もお近くの市議会議員はじめ県議会議員や国会議員にも声を届けて下さい!

どのような細な  
ことでも結構です。  
ご意見やご相談は

神戸市会  
議員

上富のりひろ うえはた

まで  
お寄せください。